永楽病院のこと

薬学雑誌 1907 年度 1454 頁など

明治 40 年 12 月号の薬誌，東京通信にわずか 4 行の記事がある．麹町区永楽町の当病院が，移転先予定地の神田和泉町（大学東校のあった場所だろうか？）の土地を，三井家に譲った．三井から代わりに小石川の土地をもらったが，移転経費が不足，費用負担について三井との交渉は不調に終わり，政府は追加予算を出すはずが，三井，その後不足額を建物として寄付することになったという話．なぜこういう記事が出るか？　永楽病院とはなにか？

永楽病院は，正式名称，東京医術開業試験付属病院といわれた．かつて，医師は医学校を出なくとも試験に受かりさえすれば免許が取れた時代があった．漢方医や独学のものを医師として認定するには実際の患者を使った試験が必要だったのかもしれない．ちなみに明治 40 年秋期の薬剤師国家試験は 2 日間の学科試験のあと 10 月 7 日～30 日まで，正味 15 日間にわたる実地試験がここであった（薬誌 1325 頁）．つまり，永楽病院は内務省所管，医師，歯科医師，薬剤師の認定試験のための病院であり，患者の診療費は無料であった．

翌明治 41 年 6 月小石川区雑司が谷に移転開始，永楽町旧跡地では，皇居接近地なるより土地清浄のため，また明治 30 年創立以来の入院死没者 800 余名のため，6 月 20 日，追吊会（ついちょうえ）が開かれ，法要が営まれた．南禅寺派前管長大導師勝峰大徹師以下，臨済宗の僧侶 30 余名参列，石黒男爵，後藤男爵，板垣伯爵代理など来賓，内務省衛生局，文部省専門局，病院職員，遺族などが参集するや，荘厳なる式が始まり，（以下略，薬誌 1908 年度 749 頁）．

しかし，法改正で医科大，医専を出ねば免許が取れなくなり，大正の初め頃から旧制度での受験者は急減した．もはや医術開業試験のために病院を持つ必要がなくなり，1917 年（大正 6 年）永楽病院は廃止され，土地建物が東大に無償で交付された．「そうか！」なぜ東大付属病院の分院が，東大の歴史に関係ない目白台にあったのか，私は今回初めて理解した．しかし分院は 2001 年に廃止され，この話ももはや意味がない．

小林　力